

バイオ解析チームでは、タンパク質などの生体高分子の構造解析をキーワードに
技術開発ならびに応用研究を大学や民間企業と共同で幅広く行っています。

技術開発

- ・質量分析による極微量プロテオミクス解析
- ・タンパク質翻訳後修飾解析
- ・質量分析ベースによるRNA分子構造解析
- ・RNAデータベース検索ソフトAriadne開発
- ・超高感度アミノ酸分析
- ・大型放射光SPring-8遠隔測定支援
- ・タンパク質結晶化など

研究課題

1. 生命科学領域の分子構造解析基盤の確立
2. 生体高分子の構造解析法の開発と応用
3. タンパク質の翻訳後修飾解析
4. RNAの質量分析

民間企業との共同研究

- ・工業利用酵素の耐久性向上に向けた解析
- ・くらげタンパク質からの有用ペプチドの生産
- ・タンパク質自動結晶化装置
- ・脳梗塞マーカーの解析
- ・キノコ含有成分の解析
- ・タンパク質非吸着チューブの検定

研究開発や共同研究で得られた成果は、原著論文として発表しております。
Nature 誌2報、Science 誌、Nature 姉妹誌3報、PNAS 誌7報、その他150報以上の実績があり、世界中の論文に5000回近く引用されています。
また、朝日、読売、毎日などの新聞にもプレス発表記事が掲載されました。

バイオ解析チームメンバー



チームヘッド	堂前 直
専任技師	渡邊 剛
専任研究員	宮武 秀行
専任研究員	中山 洋
技師	鈴木 健裕
協力研究員	益田 晶子
協力技術員	秋山 美沙紀
テクニカルスタッフ	小池 仁美
派遣職員	市川 理恵
パートタイマー	川田 昭奈
パートタイマー	久世 みその
パートタイマー	松葉 ゆかり

独立行政法人理化学研究所では、産業界との連携を深めるために、「連携促進研究員制度」、「産業界との融合的連携研究プログラム」、「産業界連携制度」などの研究員受け入れやマッチングファンドなどの制度があり、当チームでも民間企業との連携ではこれらの助成を受けた共同研究も推進しております。

また、寄附者が予め用途を特定する**特定寄付金制度**もあり多くの企業からの寄付を頂いて活動しております。

大学・国公立研究所との共同研究

公的研究所

国立感染症研究所
独立行政法人産業技術総合研究所
独立行政法人科学技術振興機構
ERATOプロジェクト
独立行政 法人 農研機構
食品総合研究所
独立行政法人放射線医学総合研究所
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
東京都老人総合研究所
財団法人東京都医学研究機構
東京都精神医学総合研究所
熊本県農業研究センター

公立大学法人

首都大学東京大学院理工学研究科
名古屋市立大学大学院薬学研究科
早稲田大学理工学術院先進理工学部
慶應義塾大学理工学研究科
東京理科大学理工学研究科
上智大学理工学部
東海大学 糖鎖科学研究所
東京薬科大学生命科学研究科
明治大学農学部生命科学研究科

国立大学法人

東京大学
（医学研究科・理学研究科・医科学研究科・薬学研究科・農学生命科学研究科・大気海洋研究所・新領域創成科学研究科）
京都大学
（化学研究所・ウイルス研・薬学研究科・理学研究科・工学研究科・大学院地球環境学）
大阪大学
（蛋白質研究所・大学院理科学研究科）
名古屋大学理科学研究科
北海道大学触媒化学研究センター
東北大学大学院薬学研究科
九州大学生体防御研究所
神戸大学バイオシグナル研究センター
金沢大学医薬保健学域薬学系
東京工業大学大学院生命理工学研究科
東京農工大工学部
千葉大学薬学部
筑波大学 生命環境科学研究科
群馬大学大学院工学研究科
埼玉大学大学院理工学研究科

海外

Yale University
Newcastle University
プサン大学

委託分析・分析相談

極微量クロマトグラフィーによる分離、各種（定性、定量、超精密）質量分析、アミノ酸配列分析、組成分析、X線結晶解析等を利用して解決します。ご相談ください。

料金例：

相談	無料
アミノ酸配列分析	10残基 10万円～
MALDI-TOF測定	一件 10万円～
共同研究	50万円～

バイオ解析チームの歩み

1991年4月	特殊法人理化学研究所和光研究所研究基盤技術部 生体分子解析室 開設
1999年4月	物質研究基盤部生体分子解析室に組織改変
2002年4月	中央研究所発足 中央研究所物質研究基盤部生体分子解析室に改組
2002年11月	中央研究所先端技術開発支援センターに改組 バイオ解析チームに呼称変更
2003年4月	独立行政法人理化学研究所発足
2008年4月	基幹研究所発足 基幹研究所先端技術基盤部門バイオ解析チームに改組
2009年10月	基幹研究所ケミカルバイオロジー研究領域 ケミカルバイオロジー研究基盤施設バイオ解析チームへ改組
2011年現在	独立行政法人理化学研究所和光研究所基幹研究所 ケミカルバイオロジー研究領域ケミカルバイオロジー研究基盤施設 バイオ解析チームとして活動中



独立行政法人理化学研究所 和光研究所



アクセス: 和光市駅よりバス5分 広沢バス停

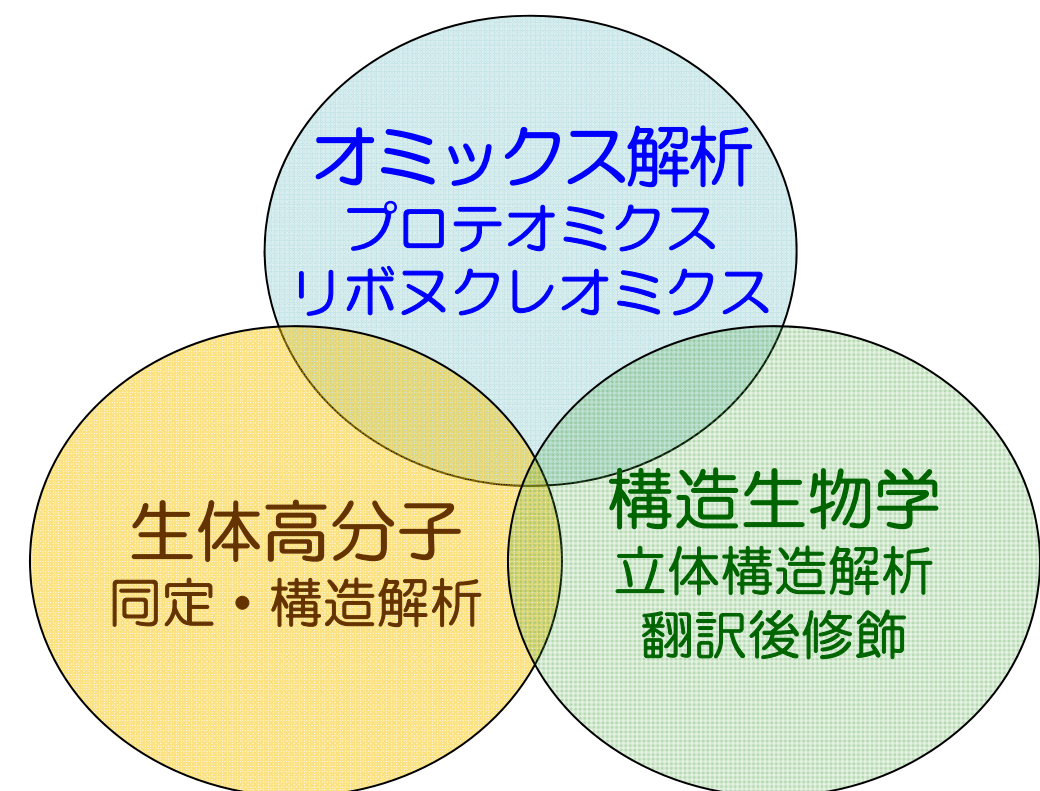


独立行政法人理化学研究所 ケミカルバイオロジー研究基盤施設
バイオ解析チーム
〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 生物科学研究棟S153
電話: 048-467-9510
ファックス: 048-462-4704
メール: bcc2002@riken.jp
URL: <http://www.riken.jp/BiomolChar/>
お問い合わせ先: 理研・バイオ解析 堂前まで



20110325

独立行政法人理化学研究所 ケミカルバイオロジー研究基盤施設 バイオ解析チーム



ご相談・共同研究・共同開発・委託分析の
しおり